

事務事業名		農業基盤整備促進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課	
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農業振興係	担当課長名	藤掛広行		
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		新規事業			
	基本事業	2 農地の有効利用					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	9180	一般	6	1	5	農業基盤整備促進事業						
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度のみ		事業期間		26年度		根拠法令 条例等	農業基盤整備促進事業実施要綱、農業基盤整備促進事業実施要領			実施方法	直営
											事業分類	支援事業
											リーディングプロジェクト	該当なし
										市長マニフェスト	該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
生産効率を高め競争力ある「攻めの農業」を実現するため、老朽施設の更新等の農業水利施設等の整備を地域の実情に応じて実施する農業基盤整備促進事業により、佐野市土地改良区が団体営として実施する揚水機交換(君田才川下流)及び用水路整備(佐野市越名)を支援する。	(市の活動) 佐野市土地改良区が行った工事に対し補助金を支払う。						
地区:佐野市の1(君田才川下流、佐野市越名) 内容:揚水機交換(君田才川下流) 用水路整備(佐野市越名 工事延長126m) 補助金額:事業費7,000,000円×補助率15% =1,050,000円 ※補助率:国50%、県15%、地元35%(市15%、佐野市土地改良区20%)	(佐野市土地改良区の活動) 揚水機交換(君田才川下流)及び用水路整備(佐野市越名)の工事を実施する。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	補助申請した箇所数	箇所		2			

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

農業農村の持続的発展を図る	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	事業を行った団体数	団体		1			

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

農業を営むための基盤整備を図る	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	受益地面積	ha		1.2			

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

利用集積を積極的に行ってもらい、適切に維持管理されている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	農地貸借面積(公社保有面積)	ha		1,131.7			
	用排水施設改修箇所数	か所		41			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		1,050				
	事業費計(A)	千円	0	1,050	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					補助金	1,050		
	人件費	千円	0	118	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,168	0	0	0		

事務事業名	農業基盤整備促進事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
-------	------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	生産効率を高め競争力ある「攻めの農業」を実現するため、老朽施設の更新等の農業水利施設等の整備を促す当該事業は、農業基盤整備促進事業実施要綱、農業基盤整備促進事業実施要領の平成25年2月26日付け制定により制度化された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	農家の減少や高齢化、米価の低迷による農家経済の疲弊により農業施設の維持管理や改修に対する意欲が減退している。このような状況が進行するなかで、本事業により農業用施設整備支援は、農家の営農意欲の維持・向上につながり、耕作放棄地の増加防止の観点からも重要性が増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	佐野市土地改良区から平成25年度に実施要望があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	本事業は、農業生産基盤の整備や農村環境の向上を図るものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	農業農村の発展は、食糧自給率の向上や国土保全や水源涵養といった農業の持つ多面的機能の発揮に必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	支援対象団体や支援内容は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	農業基盤整備促進事業実施要綱、農業基盤整備促進事業実施要領等で定められた目的ややり方が妥当である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業主体ではないので、事業費の削減は困難である。人件費は、補助事業としての最低限の業務時間であり削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	国、県の補助率は決まっており、地元(市と土地改良区で35パーセント)の負担割合は話し合いで決めている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	平成26年度の単年度事業である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			